

きざばし

校訓 心美しき二中生たれ 心強き二中生たれ
ひたちなか市立勝田第二中学校
学校だより 第7号
令和3年10月8日(金)

令和3年度前期が今日で終了しました。保護者の皆様には度重なる行事の変更や臨時休業へ対応など御理解と御協力をいただき心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスとの共存でスタートした令和3年度でしたが、6月の修学旅行や校外学習が感染拡大で延期となりました。しかしその後は、3年生の最後の総体やコンクール関係は感染予防を徹底した中で無事に開催することができ、もてる力を遺憾なく発揮してくれました。8月には再びコロナ感染拡大により、緊急事態宣言が発令されました。これに伴い、1・2年生の部活動が中止となり、9月からはオンライン授業やハイブリット授業、分散登校とさまざまな授業形態により学習に取り組んできました。今までに体験したことのない授業方法に戸惑いや不安を感じた生徒や御家庭もあったと思います。生徒は新しい取り組みにも一生懸命に挑戦し、学びを止めない努力を教員とともにしてくれました。本当にすばらしい取り組み態度でした。終業式での生徒代表の言葉を御紹介します。

校長 高木 克己

前期を振り返って



1年1組 軍司みのり

中学校に入学してから約6ヶ月が過ぎ、初めての前期が終わります。皆さんにとって、どのような前期でしたか。緊急事態宣言の発令に伴い臨時休校となり、体育祭が中止になるなど、色々なことがまだ経験できていないままですが、私にとってこの6ヶ月は、とてもあっという間でした。

私は入学した時に、充実した中学校生活を送るために、自分の中で3つの目標を掲げました。1つ目は、部活で練習に励み1試合でも多く勝てるように準備すること。2つ目は、勉強に一生懸命取り組み、苦手科目を作らないようにすること。3つ目は、友達を多くつくり、悩みごとを相談したり、楽しかったことを伝えたりすることです。この目標は、まだ達成できていませんが、頑張れたこともあります。それは、委員会活動です。私は前期に学級委員になりました。クラスを一つにまとめるのは決して簡単なことではありませんでしたが、先生やクラスのみんなに助けられながら、今では団結したとても明るいクラスになりました。

これからも、新型コロナウイルス対策で、行事の中止や延期、臨時休校など、不都合に感じることもあると思いますが、逆境にめげず、その中で何ができるのかを考え、さらにより良い学校生活にしていきたいです。

後期も勝田第二中学校の生徒として、恥ずかしくない行動を取ることを誓い代表の言葉とします。

前期の振り返りと後期の目標



2年1組 大和田真歩

前期を振り返ると、コロナ禍でできることが限られ宿泊学習や体育祭は延期になってしまい、あまり行事や印象に残ることがありませんでした。しかし、より充実した後期を過ごすために前期を振り返り、後期の目標を立てました。

1つ目は学習面です。だんだんと受験が近づいてきました。今までに習ったことを復習し、身に付けていかなければならないと思います。提出物を忘れないうちに出したり、分からなかったところは先生に質問したり、積極的に授業に取り組むことをこれからも続けていこうと思います。

2つ目は生活面です。反省点は2年生としての自覚が薄かったことです。2年生は1年生のお手本として学校のルールや生活の基本を教えたり、3年生を支える「縁の下の力持ち」として活躍したり、1年生にはうつつでも見られているという自覚をもって生活しなければなりません。たくさん大変なことがあると思いますが、乗り越えて、礼儀や当たり前のことができるようになりたいです。

3つ目は部活です。私は女子バレーボール部に所属しています。3年生が引退し、夏休みに入り「こ

れから」というときにコロナの感染が拡大し、部活もまともにできないまま夏休みが明けました。大きな大会までに、夏休みに練習ができなかった分を取り返すため1回1回の練習を大切に、真剣に行おうと思います。また、引退するまでの期間はあっという間だと思いますが、バレー部のみんなで楽しい思い出を作っていこうと思います。

私は、この生活に慣れてコロナを乗り越えていきたいと思います。そして、コロナ禍の学校生活を私なりに楽しんでいきたいです。

前期の反省と後期の抱負



3年1組 大山 一織

いよいよ中学校生活も前期が終わり、後期に入ります。それと同時に受験の日も刻一刻とせまってきました。今年は、学校行事の延期や中止、オンライン授業など、今までとは異なる学校生活を送らざるを得ませんでした。そんな中での受験勉強は、なかなか気持ちも乗らず、自分の中でも「これで本当に大丈夫なのか」と思うときもありました。そのため、私は残りの日を勉強面、生活面と充実した生活を送りたいと思いました。そこで、私が後期の学校生活で意識していきたいことが2つあります。

1つ目は勉強への取り組みについてです。これまでは、どちらかというと「定期テストのための勉強」をしていたため、テストの間隔が大きくあいた期間は勉強を必死にやるということがあまりありませんでした。また、テストが終わるとつい気持ちがそれてしまい、勉強から少し離れてしまっていました。しかし、この勉強法は受験生としてよくないのではないかと思います。そのため後期では、テスト期間でなくても「受験に成功するための勉強」として、ワークの復習や教科書の読み返しなどをして、平日頃から学習を身近に捉え、進めていきたいです。

2つ目は学校生活についてです。受験が近づくと同時に、中学校生活の終わりも近づいてきます。この3年間でお世話になった先生方に感謝の気持ちを持って、残りの日々を過ごしていきたいです。また、これまで協力して過ごしてきた友達と最高の思い出をつくり、振り返ったときに「楽しい3年間だったな」と思えるようにこれから生活していきたいです。

この中学校生活が高校に進学しても生かせるように、後期は一日一日を大事に過ごしていきたいと思います。



入学式(4月)



授業参観(4月)



教育実習(6月)



少年の主張(7月)



授業参観(7月)



オンライン授業(9月)